FACSIMILE EQUIPMENT

Patent Number:

JP60182851

Publication date:

1985-09-18

Inventor(s):

OOHIRA HIDEAKI; others: 03

Applicant(s):

MATSUSHITA DENSOU KK

Requested Patent:

☐ JP60182851

, ipplication (tallibo

Application Number: JP19840039256 19840229

Priority Number(s):

IPC Classification:

H04N1/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To combine organically a facsimile equipment with an external controller such as a computer by switching and controlling the input connection and output connection according to instruction information of the computer from a system control section.

CONSTITUTION: When a control signal including instruction information and data information is given from the computer 2 to a facsimile equipment 1, the control signal is inputted from a computer interface section (CI section) 10 to a system control section 15. Then the system control section 15 recognizes the instruction information and the data information from the control signal, controls switch means 11-14 according to the content and sets the operating condition of required constituents for the execution of the instruction content. Then the operation is started by a start signal from the computer. Many new functions are provided to the facsimile equipment 1 by the kins of instructions from the computer 2.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

移日本留特許疗(JP)

60 特許出職公開

昭60-182851 ● 公 開 特 許 公 轍 (A)

@Int Cl.4

進制起母

介內整理番号

@公開 昭和60年(1986)9月18日

H 84 N 1/00 # H 84 L 13/00

107 8020-5C Z-7240-5K

審査諸水 未踏水 発明の数 1 (全5頁)

母発明の名称 フアクシミリ禁置

●特 顧 昭59-39256

创出 關 昭68(1984) 2月29日

の発明 者 大 苹 東京都日展区下日展2丁目3番8号 松下電送株式会社内 化 推 東京縣目與区下目無2丁目3番8号 松下電送株式会社內 砂松 男 上 野 母兒 蚵 異 伍 東京都目恩区下月風2丁目3番8号 松下電送株式会社内 和失 東京都召無区下召摄2丁日3番8号 松下電送株式会社内 母発 頻 爽 田 松下電送株式会社 東京都日孫区下日孫2丁日3番8号 创出 🖼 外1名 多代 華 人 弁型士 中是 競秀

1、発明の名称

ファクツミリ森県

な、毎許将求の報告

原稿典報事僚、第2の背号化・指号化手改みび 京京科学企业を戻すの符号化・競与化学装へ搭信 今を労働えて入力する人力製後手良と、高1の作 今化・復身化手政から関係隊、第2七符号化・復 今化学放及び変復調手収へ都負券を労働えて出力 プる四方句表子依と、外部の飼料法理からの命令 **情報とタータ降級的表示で的総名を設定的部する** 制御予款とを具備したるとを特容とするファクシ そり毎世。

3、前领心部群水政明

定蔵 よむ 利用分別

本典明はコンピュータ等の外部制御典徴を辞載 可能とし、オフィスポットリーション・システム の選択製業とおりりるファタシミリ無難に関する。

佐奈例の終度とその助理点

近年のオフィス・オートメーションの政化より、

ファグジミリ集職も、従来のよりな単鉄の専用商 品としての使用だけでは物足りせくなってもている。 丁をわち、オフィス・オートメーション・システ 4の一つのコンボーネンをとして、コンピュータ 等と有限的に駆合し、とれまで的無い、微々な扱 絶を果すととが値せれている。

しかしながら、発来のファクシミリ装置は、平 司第為としての色彩が強く、一個の数立し大路ル として牝鼠されていただけに、それぞれに毎郎や 用途の異なるニーザーのオフィス・オートリージ ョン・システムの一つのロンボーネントとして見 **京矢耐え着るだけの製造性や発設性に欠けるとい** う欠成があった。

字段野似上部大点に基づいてなるれたものでも ぎ、コンピュータとのインメーフェースを可能と したファクンミリ独数を提供するなどを名的とさ

発明の無成

* 本際的式をみファクシくり供物は、依強観歌部

菲爾昭69-1828年(2)

長海内の説明

以下、国面に基づいて本製物の一種無例を取得する。国は本発物の一種推例によるファタシミリ 経療の散略プロック部である。何忌化かいで、7 はファダンミリ 経費で、8 校ファナシミリ供養1 に振動されたコンピューチ、3 は同じくファダシミリ保養1 で振動されたコンピューチ、3 は同じくファダシミリ 保養1 で振動された国際である。

ファタシとり侵奪しにおいて、4位密信収額

(出版を中)を完全的に発在して非符号化ラスメ 元品関係与を得る原稿版取出、5以内行号化ラス メモ変面包号を受けて、その動名号に従って客会 個を記録する記録館、6就提数例の別定のシーケ ンスに基づいて入力信号を行号化したり、使号化 したりする第1のBO/86 帯、7式第1のBC/88 盛ると前じ職能を発す額なのBC/88 時である。

をとるで、無1及び無2の打号化・使号化器の。 ナ拡以下の4階級の動作を狭一的に実施するもの ナルス

- イ、入力する実行サルテスト電差医信号をその まま出力する。
- n。入力する非符章化クスタ電器面信券を符号 化ラスメル素面包号に符号化して仏力する。
- 一、人力する行う化ラスタ電視機関係等を発行导化ラスタを登録者の配替号に設備化して出力する。
- 3. 入力するカッククタ特号化職保付を非符号 化ラスク競技節保存に提与化して出力する。 をお、上記っといむ初の符号化及び提号化の方 まにも散散的のものかあり、代表的をものだ。

CCITI のエンリーメの動物の中の基本方式やM 単方式がある。

また、即にかいて、単は人力するを与き取扱したり、経路したりする配関的報である。この収録 調度のも数数量の型で限労大を励えていり、その 代表的なものに、人材・PM-V8B方式や松格 性物配解方式などがある。のは回解表表のために メイヤメ気号を告出したり、回線との組またに対 と切扱える回標制即即である。1 のは外界のロン じょータコと会談し、面信号や制御信号を交換するで1 34である。このじも 251 中の構成の代表的 を方式にある。このじも 251 中の構成の代表的 を方式にある。このじも 251 中の構成の代表的

はちば、11~14はそれぞれスインチ等の切換手以でもか、切換手取り1は無無板根跡4、第2の4C/8を部す、CI部1の及び変接調益9から無1のBC/8を部ちへの名替の部信号の入力を続き、保険手数1を休部1のBC/8を買きから形盤的6、第2の8U/8を削す、CI部1の及び変換額6、第2の名物の面合号の出力収扱を、切換手

後1 8 社で1 第1 0 から都2 の 8C/88 基で、第1 0 BC/88 第6 及び数銀網第8への出力単元を、第1 0 BC/88 第6 及び数銀網第8への出力単元を、第1 0 BC/88 第6 及び数銀網第8への出力単元を、第1 8 日本の大力が終を、それぞれ行うものである。また1 8 日ファクシミリ表数1 の上記研ぶを売を個別を開西するシステェ振師部である。また、別にかいて、矢印はすべて整信守の過略を示し、制御を今の延縮に対しては配入していないが、システム制御部1 6 と合棚服装活料で制料係令が交換されているととはおうまでもない。

以上の様式を有する本質質例によるファタンミ り最後の作動を単下に試明する。

まず、ロンビュータなおファクンミリ製造すに 出力する制御信仰には、命令情報とデータ情報が 含まれている。命令情報とは、コンピュータなが ファクシミラ製盤もを用いて実践しようとする作 型の内容を示し、その行業内容の代表的なものを 以下代紹介する。

合合なく配数=数指収収算→で取得を使み率→

为病吗84-182451(3)

ておられる面質算をコンピュータをむ 内部メモリ(国示なず)に記録する。

を全な:記録=ロンピューチ2の内面メモリズ 記憶されている無情報を記録部の式を いてへードコピード変換する。

命令で、ファクリミリ連信エコンピュータスの 内ボメモリれに関すされている面情報を 遺滅地のファクリミリ和量れ遺伝する。

命令D!コンピュータ漁徒=ゴンピュータ2の 内部メモリ代記録されている前情数を 連絡地の使講像報告者するコンピュータに送信する。

命令を、データ契換 エコンピュータ8の内容 ノ モリに 信仰されている無信 枝を符号化 む あいは 信号化して、再度、コンピュー タ8の内部メモリに記憶する。

一方、テータ情報とは、教法り動物的あるいな 必要とする国情報の内容を示している。例えば、 面徴報の行う化の有組情報や、符号化されている 落会の符号化力式の情報及び集像提供達をどがる れれ塩当する。

上記命令情報とデータ選挙を含む制御体令がコンピュータをからファクンミリ器をす代的力されると、その制制等をはひと称したからシステム制制器では入力する。すると、ソスケム制制器であれた入力する。すると、ソスケム制制器である。である会情報とデータ情報を制設し、その内容にしたがって、関数手続きりついるを制力すると決化、を存在を表記する。そして、コンピューチョからのスチート省号により、動作を関いする。

次に、特記の入へ目のそれぞれの協分についてファメントリ英数1の物件を設めてる。

(1) 自含基中特合

ジステム制御部16は、関数学家11が原 模説配数4を、解数学数12がC(数10を、 関数学数14が高1かBC/BIRGをそれぞ れ過れするように制御する。したがって、最 様便取前4で行られた弁符号化ラスド表面 低分を31のBC/BE は6でコンピューチョ

から与えられるデータ情報に使った何多化力 式で符号化し、CIB(ロからコンピュータ まに入力でもる。それにより、京都上の節句 原をロンピュータコの円路メモリに随情報を 動像である。

(2) お分りの場合

システム物類部1 5 は、辺狭手図1 2 が記 会路をを、知無手数1 1 がC 1 即1 0 を、付 鉄手数1 2 が無1 0 B C/B 5 都を十九ぞれ思 頻するように制御する。したがって、コンピ ュータ2 の内部メモリに記憶された符号化ラ スタ走及世信をナセッラクト符号化面信号を C 1 部 1 0 を介して乗1 の 8 C/B 8 節 で 中 符号化ラスタ及及語信号に便号化し、配像製 のに入りできる。それにより、コンピュータ 2 に配信された数像をハードコピー化できる。

(8) 命令での整合

ンステム制物部1 4 は、労技学数1 3が試 2 のBC/BF 部でも、労技学数1 5が前分の BC/88 度でも、勢快手数・3が変数類部のを、それぞれ最終するように制能する。とれてより、コンピュータをに覚悟された画像ではより、コンピュータを受異なると/88 度の1 第40を介して第20を登録なるとは使うに使うない。 おりのでは、40 年の100のでは、40 年のでは、40 年のでは、40

(4) 命令日の前世

システス制制的1 6 は、勿扱を飲まるが変 提供部分を選択するように動物する。これに より、ロンピュータとに記録されている通信 現在、C1 81 0を介して収録器のに入力 して契約し、四部制御部・及び回線制御部やが 但立した関級さを迫じて、相手の研究手段を 者するコンピュータ(四年セデ)に供送でき る。とれにより、連携地に動物されたコンピュータに、コンピュータなが変化する影響等 と何じものを記憶させることができる。

(4) 金春里の福金

システム例知路16は、別級手段13が紙2DBC/BE 部でを、切換手数11が悪コむBC/BE 部でを、切換手数12がCIB1Oをそれぞれ選択するように観測する。したがって、コンピュータ2が記録するキャラテク特を電過音を、CIB1Oを介して、第2DBC/BE 部でに入力し、そとでお得化のスク超至部の形入力し、そとで将号化ラステ光変感覚分に変換し、音なに、コンピュータコに入力するととがままして、コンピュータコに入力するととがままれた距離後の所建め行り化方式のものに複換で

ė ě.

以上代数別したものは、水炭塩肉によるファタショリ強能・化かいで使用のファタショリ機能に 質大に適加された機能や一物であるが、そのよう 支質用や微弱により、原料複像部をから費られる 面信領とコンピュースまが掲つゲーチとを合成し たり頭乗したもののハードニピーを得たり、それ を透明地のファクシェリ研修やコンピューダに戻 送でもる。また、コンピュータまを電子ファイン システムとして使用できる。

たか、本質等例では、初級手段をスイッテ等のハード事故として説明したが、これは、ソフトウェアで実施しても良い。また、本質集例では、CI 部1のと無視視路を及び割りのBC/Bをひらとの間に番付分で次方向の造造経路を設け、それぞれ、別検手をを致けているが、これは毎くても良い。つまり、割りまたはあるの符号化・概号化器を、入力給号なそのをも出力するというように改定すれば良いからである。

古らば、本務的は上記突然後にの本限策される

ものではなく、本義所の精神化反するととなく、 関係な追加や変更を行うことは、直接者であれば 事品に考えられる。

気ののも思

以上のように、本発的によれば、原質観象器、 記録は、思するびあるの DC/BE 部、変数語等、 記載無確形表びコンピューメギの外部検測を のインターフェース部をそれぞれ必立にレステム 付款をが創作し、固合性の過速観話を倒換えるた 心の知事事故をシステムの終去数が外部物を からの命令関係及びデータ物構に高づいて執行す るものであるから、励通性や発理性が良くでき、 機能会成セステムや電子ファイルレステムのよ フィス・オートメーション・システムの1 つのコ ンポーネンととしてどのようなシステムにも十分 に両角できる。

4、製菌の触事な説明

別は本会別によるファクンミリ協能の政略プロ テク島である。

1……ファタシミリ蘇魮、2……コンピューダ、

4……原稿院収容、4……配条算。6、7……符号化・使号化厚、4……面提到版、6……回避到 静静、11~14……の数手数、16……シェテ 上計算等。

代理人の氏名 方理士 中 定 智 男 ほかり名

